

基礎習得コース

臨床のリアルを学んで病棟に飛び出そう！ 自信につながるスキルとメンタルをサポート

1テーマ約15分

コード	セッション名・講師・テーマ名	到達目標
AA2501	五感フル活用！ バイタルサインからどう判断するか 山内 豊明 先生 放送大学大学院	
AA2501-a	酸素化を見極める	●最優先は酸素化であることがわかる ●バイタルサインの必要性がわかる
AA2501-b	バイタルサインのとらえ方と活かし方	●バイタルサインは五感で評価できることがわかる ●バイタルサイン・ツインズを4つあげられる
AA2501-c	バイタルサインで迅速診断！ ～いま起きていることを見極める～	●緊急度の評価に役立つバイタルサインが説明できる ●ショックの評価をするためのバイタルサイン適用方法を述べられる
AA2501-d	バイタルサインで急変予測！ ～これから起きることを見逃さない～	●急変の前兆を察知するためのバイタルサインの知識を身につける
AA2502	はじめての褥瘡ケア ～予防・発見・悪化防止の基礎知識～ 山口 みどり 先生 なごみ訪問看護ステーション	
AA2502-a	褥瘡の基礎知識～発生機序と好発部位～	●褥瘡の発生機序と好発部位が説明できる ●褥瘡が発生しやすい場面がわかる
AA2502-b	褥瘡のリスクアセスメント	●褥瘡のリスクを予防するためにどのような見極めが必要なのかわかる
AA2502-c	褥瘡と皮膚障害の鑑別	●褥瘡か否かの特徴がわかる ●褥瘡と見分ける必要のある皮膚障害がわかる
AA2502-d	看護師が求められる褥瘡ケア	●急性期褥瘡の特徴がわかり判断ができる ●新人看護師として最低限知っておくべき褥瘡ケアがわかる
AA2503	デキる新人がおさえておきたい薬物管理の基本 柳田 俊彦 先生 宮崎大学	医療安全
AA2503-a	安全な薬物管理のための大原則 ～6つのRightを確認しよう～	●薬物管理において起こりやすいエラーが説明できる ●6Rをすべてあげることができる
AA2503-b	看護師が知っておきたい「クスリ」の「リスク」	●看護師が学ぶべき薬物の知識について、情報収集が実践できる
AA2503-c	投薬の流れと看護師の役割	●投薬のプロセスにおいて看護師に求められる役割が説明できる
AA2503-d	安全な投薬のためのコミュニケーション	●投薬におけるコミュニケーションエラーのリスクが理解できる ●エラーが起こりにくいコミュニケーションを実践できる
AA2504	心電図のいろは 鈴木 まどか 先生 順天堂大学	
AA2504-a	心電図の基本	●心電図とは何かを理解できる ●12誘導心電図とモニタ心電図の違いを理解できる ●12誘導心電図のとりかたがわかる
AA2504-b	心電図の波形の基礎知識	●心電図の波形の成り立ちを学び、正常な心電図の波形が理解できる ●モニタ心電図にⅡ誘導を使用する理由がわかる
AA2504-c	日常でよくみる不整脈	●期外収縮や心房細動など日常でよくみる波形の特徴について説明できる
AA2504-d	危険な不整脈への対応方法	●危険な不整脈への対応方法をあげられる
AA2505	基礎から学ぶ人工呼吸器の扱い方 ～苦手意識をもたないために～ 野口 裕幸 先生 CE 野口企画	医療安全
AA2505-a	人工呼吸器の基本知識	●人工呼吸器を使用する目的を述べることができる
AA2505-b	人工呼吸器装着時の看護ケア	●人工呼吸器装着時の日常生活ケアのポイントを1つあげることができる
AA2505-c	人工呼吸器のアラーム対応	●人工呼吸器のアラームの意味を学び、対応方法がわかる
AA2505-d	挿管・抜管時の準備と介助	●挿管・抜管時に進んで介助できる知識を身につける
AA2506	もう得意！ 実践に強くなる静脈ルート確保・採血 村丘 寛和 先生 CLINIC FOR グループ	医療安全 IVナース
AA2506-a	静脈穿刺の注意点 ～解剖学的知識を身につけよう～	●前腕の血管および神経の走行について穿刺時に注意すべきポイントが説明できる
AA2506-b	さあ、どこに穿刺する？ ～穿刺箇所の選定と穿刺までの流れ～	●穿刺部位選択の考え方が説明できる ●穿刺までの準備と流れが説明できる
AA2506-c	静脈ルート確保の手技と注意点	●静脈ルート確保の穿刺から固定までの流れが理解できる ●静脈ルート確保時の注意点が説明できる ●自分自身の実践の手技がイメージできる
AA2506-d	採血の手技と注意点	●採血の穿刺から抜針までの流れが理解できる ●採血時の注意点が説明できる ●自分自身の実践の手技がイメージできる

コード	セッション名・講師・テーマ名	到達目標
AA2507	もう平気！ 実践に強くなる筋肉内注射・皮下注射・皮内注射 村丘 寛和 先生 CLINIC FOR グループ	医療安全 IVナース
AA2507-a	色々な注射法	●色々な注射法の目的や特徴を説明できる ●注射で起こり得る有害事象と副作用が説明できる
AA2507-b	筋肉内注射の穿刺部位	●主な筋肉内注射の穿刺部位と注意点を述べることができる
AA2507-c	筋肉内注射の手法と注意点	●筋肉内注射の穿刺から抜針までの流れが理解できる ●筋肉内注射時の注意点が説明できる ●自分自身の実践の手法がイメージできる
AA2507-d	皮下注射・皮内注射の手法と注意点	●皮下注射・皮内注射の穿刺から抜針までの流れが理解できる ●皮下注射・皮内注射時の注意点が説明できる ●自分自身の実践の手法がイメージできる
AA2508	初めての急変対応 ～チームの一員として知っておくこと、やるべきこと～ 三上 剛人 先生 吉田学園医療歯科専門学校	
AA2508-a	急変とはなんですか？	●急変とはどのような状態か述べるができる
AA2508-b	急変を見抜く観察のポイント	●急変を見抜く方法を知ることができる
AA2508-c	急変発生時のあなたの行動	●急変発見時にとるべき行動を考えることができる
AA2508-d	心肺蘇生のパフォーマンスを上げるポイント	●効果的な心肺蘇生の技術を確認できる
AA2509	はじめにおさえておきたい看護記録の心得 藤田 比左子 先生 創世看護	
AA2509-a	看護記録に対するマインドセット	●看護記録の法的義務と責任について説明できる ●看護記録の定義と目的について説明できる
AA2509-b	看護記録の意義と適切性の基本	●看護記録の意義について説明できる ●適切な看護記録の主な基本的要素を説明できる
AA2509-c	適切な看護記録の記載～ SOAP 形式を例に～	●適切な看護記録の書き方について理解し、明日から実践することができる ●SOAP 形式での構成と内容を説明できる
AA2509-d	事例で学ぶ看護実践を保証する看護記録	●看護実践を保証する看護記録の構成を説明できる ●看護記録の目的を理解し、看護記録を書く際に活かすことができる
AA2510	安全・安楽な食事介助について理解しよう！ 飯原 由貴子 先生 食べたい-おくちから 代表	
AA2510-a	摂食嚥下のプロセスについて	●摂食嚥下の5期モデルについて理解できる
AA2510-b	食事介助に潜むリスク～誤嚥・窒息の予防～	●誤嚥・窒息を予防するための方法や注意点についてわかる
AA2510-c	食事介助の基本～適切な準備と介助方法～	●安全で効果的な食事介助の方法がわかる
AA2510-d	食事形態の調整と段階的アップの必要性	●飲み込みに注意が必要な食品の特性と食事形態調整の必要性、段階的な食事形態アップについて理解できる
AA2511	看護のコア～変わらないもの、変わるもの～ 川本 利恵子 先生 湘南医療大学	
AA2511-a	歴史からひも解く看護の歩み	●今日に至る看護の歩みを自分の言葉で説明できる ●看護とは何か、その本質を説明できる ●看護の歩み（歴史）からひも解き、看護の価値を説明できる
AA2511-b	近年の日本社会の変化と看護の役割・機能	●看護を取り巻く社会の変化について自分の言葉で説明できる ●これからの社会における看護のあり方について自分の言葉で説明できる
AA2511-c	レジェンドから学ぶ看護のコア	●レジェンドたちの看護論から、現在も変わらないものと変わってきたものを見出し、言語化できる
AA2511-d	看護の専門性と自律性の追求	●これからも看護者として生きるために必要な専門性と自律性について、自分の言葉で説明できる
AA2512	夜勤独り立ちへの心構え 比留間 ゆき乃 先生 兵庫医科大学病院	
AA2512-a	夜勤の看護業務とは～日勤との違い～	●夜勤の日勤との違いを知り、夜勤で求められる看護業務の特徴がわかる
AA2512-b	夜勤で求められる実践力	●夜勤独り立ちに向けて、向上が必要な自身の実践力がわかる
AA2512-c	夜間に起こりがちな患者対応	●夜間に起こりがちな患者の状態を想定することができる
AA2512-d	夜勤で体調を崩さないために	●夜勤前後の生活のリズムを整える方法がわかる
AA2513	新人看護師の1日～日勤密着でわかる独り立ちへの道筋～ 入学 佐美里 先生 医療法人社団 顕鐘会	テストなし ワークなし
AA2513-a	新人看護師の1日 ～日勤密着でわかる独り立ちへの道筋～	●新人看護師の日勤のタイムスケジュールがイメージできる
AA2514	続く！ はかどる！ 社会人の勉強法 看護師のかげさん	テストなし ワークなし
AA2514-a	続く！ はかどる！ 社会人の勉強法	●自分に合った勉強法をみつけ、明日から実践することができる
AA2515	自分の考え方のクセを知ろう 内藤 知佐子 先生 愛媛大学医学部附属病院	テストなし ワークなし
AA2515-a	自分の考え方のクセを知ろう	●自分の考え方のクセに引きずられないための方法を1つあげられる

コード	セッション名・講師・テーマ名	到達目標
AA2551	実践！アセスメント力を高めるフィジカルイグザミネーション 藤野 智子 先生 聖マリアンナ医科大学病院	
AA2551-a	フィジカルイグザミネーション・フィジカルアセスメントの基本	●フィジカルイグザミネーション・フィジカルアセスメントの基本が理解できる
AA2551-b	フィジカルイグザミネーション：呼吸器系	●呼吸器系のフィジカルイグザミネーションがイメージでき、明日からの実践に活かすことができる
AA2551-c	フィジカルイグザミネーション：循環器系	●循環器系のフィジカルイグザミネーションがイメージでき、明日からの実践に活かすことができる
AA2551-d	フィジカルイグザミネーション：脳神経系	●脳神経系のフィジカルイグザミネーションがイメージでき、明日からの実践に活かすことができる
AA2552	新人看護師のあなたが備えておきたい臨床判断能力 小澤 知子 先生 東京医療保健大学	
AA2552-a	臨床判断とは	●臨床判断の基本が理解できる
AA2552-b	臨床推論とは	●臨床推論の基本が理解できる
AA2552-c	臨床判断と臨床推論の関係	●臨床判断と臨床推論の関係を説明できる
AA2552-d	臨床判断に必要な気づく力の育み方	●臨床判断に必要な気づきの育み方が理解できる
AA2553	もう怖くない！患者の安全・安楽を守る排痰・吸引スキルを身につけよう 乙黒 恵子 先生 山梨県立中央病院	
AA2553-a	肺の解剖と痰が出るしくみ	●肺の解剖について説明できる ●痰が出るしくみについて説明できる
AA2553-b	吸引を実施するまえにできること ～体位ドレナージ、呼吸助法など～	●体位ドレナージの実施方法が説明できる ●呼吸助法の実施方法が説明できる
AA2553-c	吸引を実施すべき状態と判断基準	●吸引を実施すべき患者の状態が説明できる
AA2553-d	安全・安楽な吸引のための手技	●吸引の手順と注意点が説明できる
AA2554	デキる新人になるための輸液ポンプ・シリンジポンプ取り扱い心得 西垣 直美 先生 西濃厚生病院	医療安全 IVナース
AA2554-a	輸液ポンプの基本	●輸液ポンプの操作と管理の基本が説明できる
AA2554-b	シリンジポンプの基本	●シリンジポンプの操作と管理の基本が説明できる
AA2554-c	輸液ポンプ・シリンジポンプの安全な取り扱い方法	●輸液ポンプ・シリンジポンプの安全な取り扱い方法が説明できる
AA2554-d	輸液ポンプ・シリンジポンプのアラームの意味とその対応	●輸液ポンプ・シリンジポンプのアラームの意味と対応手順が説明できる
AA2555	無菌操作に強くなろう！安全と患者心理に配慮した膀胱留置カテーテルの挿入 藤本 佐希子 先生 海南病院	感染対策
AA2555-a	膀胱留置カテーテルの基礎知識	●膀胱留置カテーテルの役割と構造が理解できる
AA2555-b	カテーテル関連尿路感染（CAUTI）の原因と予防	●CAUTIの機序を理解し、感染予防策を実施できる
AA2555-c	カテーテル挿入手技の実際	●清潔操作をふまえた安全なカテーテル挿入の留意点が説明できる
AA2555-d	カテーテル留置中の管理のポイント	●カテーテル留置患者の管理のポイントが説明できる
AA2556	やさしく学ぶ疼痛管理 ～痛みを和らげるのは何のため？～ 廣橋 猛 先生 永寿総合病院	がん看護 IVナース
AA2556-a	いちばん知ってほしい！患者にとっての「痛み」とは何？	●患者における疼痛の意味を知る ●疼痛の原因や種類を理解できる
AA2556-b	疼痛緩和に最も重要なアセスメントを知る	●疼痛を評価する方法やツールを理解できる
AA2556-c	疼痛緩和に用いるさまざまな薬を知る	●疼痛緩和のための薬物療法について説明できる
AA2556-d	薬以外でも痛みは和らぐ！看護師だからこそできるケア	●疼痛緩和のための非薬物療法とケアについて説明できる ●疼痛緩和において自らの役割を理解できる
AA2557	基礎から学ぶ臨死期のケア ～人の最期に立ち会うということ～ 小林 光恵 先生 看護師・著述業	
AA2557-a	終末期の基礎知識	●終末期の基礎知識が理解できる
AA2557-b	臨死期（～死亡まで）に起こることと看護のポイント	●死亡までの臨死期に身体に起こることと、看護実践のポイントがわかる
AA2557-c	臨死期（死亡時）の看取りの場面を充実させるために	●患者・家族が納得できる最期になるよう、配慮すべき看護のポイントがわかる
AA2557-d	臨死期（死亡後）の身体変化と身体ケアのポイント	●死後の身体変化をふまえた対応の必要性がわかる
AA2558	転倒・転落予防から考える患者安全 ～あなたがすべきこと、できておきたいこと～ 高瀬 園子 先生 NTT 東日本関東病院	医療安全
AA2558-a	転倒・転落発生のメカニズムと予防の重要性	●転倒・転落のメカニズムと予防の重要性が理解できる
AA2558-b	転倒・転落のリスクアセスメント	●転倒・転落発生の高リスク患者の特徴が説明でき、リスクアセスメントのポイントが理解できる
AA2558-c	転倒・転落の要因に対する対策の考え方	●転倒・転落予防対策の考え方が理解できる
AA2558-d	実例でみる転倒・転落予防対策	●実例をととして、転倒・転落予防対策の実践がわかる

コード	セッション名・講師・テーマ名	到達目標
AA2559	輸血の基礎を学んで安全管理につなげよう 猪越 ひろむ 先生 千葉大学医学部附属病院	医療安全 IVナース 多職種連携
AA2559-a	血液製剤の種類と基礎知識	●血液製剤の基礎が理解できる ●血液製剤の種類・名称と内容がわかる ●血液製剤のラベルの見方がわかる
AA2559-b	輸血前の準備と実施手順	●輸血の準備、手順、実施時の観察ポイントが説明できる ●血液型検査、交差適合試験（クロスマッチ）時の採血が正しく実施できる ●インフォームド・コンセントの内容が理解できる
AA2559-c	輸血関連有害事象（輸血副作用）対策と輸血前後の観察ポイント	●主な輸血関連有害事象（副作用）を理解し、発見できる ●有害事象（副作用）発生時の対応方法と輸血前後の観察ポイントを理解し、実践できる
AA2559-d	輸血チーム医療の重要性とコミュニケーションのポイント	●輸血にかかわる他職種の業務が理解できる ●輸血におけるチーム医療の重要性とコミュニケーションのポイントが理解できる
AA2560	多重課題の波を乗り越なせ ～チームワークを円滑にする整理術・連携術～ 小松 歩 先生 諏訪赤十字病院	医療安全
AA2560-a	多重課題とは	●多重課題の起こる状況を具体的に 1 つイメージできる
AA2560-b	あなたがとりがちな多重課題発生時の対応	●多重課題発生時に自分がとりがちな対応をイメージすることができる
AA2560-c	多重課題に対応するための方法 ～優先順位を考えるためのヒント～	●予測可能な多重課題、予測不可能な多重課題についてそれぞれの対応方法を述べられる ●多重課題発生時の優先順位の選択についてその基準や理由が説明できる
AA2560-d	チームで多重課題に対応するために必要なこと ～コミュニケーションのポイント～	●多重課題発生時のコミュニケーションと日常の関係性づくりの必要性を理解できる
AA2561	看護師資格は一生涯 ～未来につながら、きょうの看護をめいっぱい楽しもう～ 大島 敏子 先生 看護職キャリアサポート	テストなし キャリア開発
AA2561-a	看護師のキャリアって何？ キャリアについての基礎知識	●看護師のキャリアの考え方が理解できる
AA2561-b	社会人としてのキャリアの描き方	●職場の一員として働いていくために自分ができることがあげられる
AA2561-c	看護師として働くために自分を大切にしよう	●息切れしない働き方のためのセルフケアの重要性が理解できる
AA2561-d	未来のためにいまできること	●自分の思いと向き合い、将来どうなりたいか？ を述べることができる
AA2562	いま学び直す看護過程 ～知識と経験をつなげよう～ 宮本 千津子 先生 東京医療保健大学	
AA2562-a	看護過程とは何か	●看護過程の概念と活用の意義について理解できる
AA2562-b	臨床現場で活用する看護過程	●理解した看護過程の概念を実際の自分の業務と照らし合わせて、明日からの実践に反映できることを 1 つ述べられる
AA2562-c	看護過程と標準看護計画の活用	●標準看護計画を活用した個別的な看護過程とそのプロセスが理解できる
AA2562-d	標準看護計画を活用した個別的な看護の展開	●事例をもとに標準看護計画を活用した看護展開方法が理解できる

☐ 新規配信テーマ
 ☐ 継続配信テーマ

認知症・高齢者コース

事例動画で認知症の知識を深め、専門性を活かした高齢者ケアのための看護実践能力を養う

1テーマ約 **15分**

コード	セッション名・講師・テーマ名	到達目標
BDA2501	<看護編 1> 治療を受ける認知症の人の看護のための基本的な考え方とアセスメント・ケア 杉山 智子 先生 順天堂大学	
BDA2501-a	認知症の人にかかわるための基本的な考え方	● 認知症の人にかかわるための基本的な考え方が理解できる
BDA2501-b	認知機能障害を把握するためのポイント	● 認知機能障害の特徴を理解できる ● 認知機能障害を把握するためのポイントを理解できる
BDA2501-c	認知機能障害に伴う日常生活動作への支障を把握するためのポイント	● 認知機能障害がどのような生活上の支障をもたらすか知ることができる ● 生活障害のアセスメントのポイントが理解できる
BDA2502	<看護編 1 事例動画> 治療を受ける認知症の人の看護のための基本的な考え方とアセスメント・ケア 杉山 智子 先生 順天堂大学	
BDA2502-a	治療を受ける認知症の人との対応場面でのアセスメント	● 治療を受ける認知症の人との対応場面におけるアセスメントができる
BDA2502-b	期待する行動をしてもらえない場面でのアセスメント	● 看護師が期待する行動をしない認知症の人への対応のポイントが理解できる
BDA2502-c	生活障害のアセスメント～食事の場面～	● 認知機能障害による生活障害をとらえることができる ● 生活障害への対応を 1 つ以上考えることができる
BDA2503	<看護編 2> 治療を受ける認知症の人とのコミュニケーションの方法と環境調整のポイント 湯浅 美千代 先生 順天堂大学	
BDA2503-a	認知症の人とのコミュニケーションの原則	● 治療を受ける認知症の人に対するコミュニケーションの原則を理解し実践に活用できる
BDA2503-b	認知症の人とのコミュニケーション上の留意点	● 認知症の人との情報のやりとりをしやすくするポイントを理解してかかわることができる ● 認知症の人とのコミュニケーションを楽しむことができる
BDA2503-c	療養環境調整のポイント	● 認知症の人の能力が発揮しやすくなる環境調整のポイントを理解し実践に活用できる
BDA2504	<看護編 2 事例動画> 治療を受ける認知症の人とのコミュニケーションの方法と環境調整のポイント 湯浅 美千代 先生 順天堂大学	
BDA2504-a	会話がかみ合わない場面での対応方法	● かみ合わない会話の原因を考えることができる ● 認知症の人の気持ちに配慮した話の進め方を考えることができる
BDA2504-b	対応に困る場面でのかかわり方	● 認知症の人の言動の意味、原因を考えることができる ● その場に適したかかわり方を考えることができる
BDA2504-c	認知症の人の尊厳を損なう対応	● 自分たちが行っているスピーチロック（言葉による行動の制限）に気づくことができる ● 自分たちが認知症の人の尊厳を損なっていることに気づくことができる
BDA2551	<医学編 1> 認知症にみる原因疾患とその症状・治療法 古田 伸夫 先生 浴風会病院	
BDA2551-a	認知症の主な症状	● 認知症の定義がわかる ● 認知機能障害・生活機能障害についてわかる
BDA2551-b	認知症の主な原因疾患	● 認知症の主な原因疾患とその特徴についてわかる ● 治療可能な認知症についてわかる
BDA2551-c	認知症の治療方法～薬物療法・非薬物療法～	● 認知症に対する治療の目標がわかる ● 認知症に対する非薬物的治療、薬物治療がわかる
BDA2552	<医学編 2> 事例から学ぶ認知症とせん妄 古田 伸夫 先生 浴風会病院	
BDA2552-a	認知症とせん妄の違い	● 認知症とせん妄の違いが理解できる ● せん妄のサブタイプ、症状、3 因子がわかる ● せん妄の対応・予防のポイントがわかる
BDA2552-b	行動・心理症状（BPSD）	● BPSD の特徴がわかる ● BPSD の主な症状と分類がわかる ● BPSD の評価・対応・予防のポイントがわかる
BDA2552-c	事例にみるケアのポイント	● 症状に応じたケアのポイントがわかる
BDA2553	<事故防止編> 認知症のケアにおける医療安全 萩原 淳子 先生 国立長寿医療研究センター	医療安全
BDA2553-a	認知症によって脅かされる医療安全上のリスク	● 認知症によって脅かされる医療安全上のリスクがわかる
BDA2553-b	ヒヤリハット事例から対策行動を考える～転倒・転落など～	● 事例を通じて必要な対策行動が考えられる
BDA2553-c	認知症患者を守るリスクマネジメントの考え方	● 認知症患者を守るためのリスクマネジメントの考え方がわかる
BDA2554	<倫理編> 認知症患者の日常ケアで生じる倫理的課題 四垂 美保 先生 青梅慶友病院	
BDA2554-a	認知症患者の尊厳と権利を守る看護ケア	● 認知症患者の尊厳と権利の重要性をふまえた看護ケアができる
BDA2554-b	認知症患者の看護ケアで直面する倫理的課題	● 認知症ケアの現場で必要な倫理的課題をふまえた看護ケアがわかる
BDA2554-c	認知症患者とその家族の意思決定支援のあり方	● 認知症患者とその家族の意思決定支援のかかわり方がわかる

コード	セッション名・講師・テーマ名	到達目標
BDB2501	大腿骨近位部骨折にかかわる二次性骨折の予防 ～骨折リエゾンサービスと 骨粗鬆症リエゾンサービスの意義～ 石橋 英明 先生 伊奈病院	
BDB2501-a	大腿骨近位部骨折と骨粗鬆症の評価と治療	●大腿骨近位部骨折と骨粗鬆症の評価と治療の基本的な知識が身につく
BDB2501-b	骨折リエゾンサービスと骨粗鬆症リエゾンサービス	●骨折リエゾンサービスと骨粗鬆症リエゾンサービスの概要と意義を学び、活用のしかたがわかる
BDB2501-c	大腿骨近位部骨折にかかわる二次性骨折予防継続管理加算の概要と取り組み	●大腿骨近位部骨折にかかわる二次性骨折予防継続管理加算の概要と取り組みについて説明できる
BDB2502	看護師が知っておきたい食事介助の心得 永野 彩乃 先生 西宮協立脳神経外科病院	
BDB2502-a	摂食嚥下障害にかかわる看護ケア	●摂食嚥下障害にかかわる看護ケアの考え方がわかる
BDB2502-b	食事介助の観察項目	●食事介助の観察項目がわかる
BDB2502-c	食事介助における事故事例	●食事介助における事故リスクを予測できる
BDB2503	ADL 低下につながる高齢者の脳卒中 川合 茜 先生 中村記念病院	
BDB2503-a	高齢者に多い脳卒中	●高齢者に多い脳卒中の種類と特徴がわかる
BDB2503-b	脳卒中で知っておきたい高齢者看護ケア ～迅速な治療につなげるために～	●脳卒中における迅速な治療につなげるための高齢者看護ケアの基本的な進め方がわかる
BDB2503-c	脳卒中で知っておきたい高齢者看護ケア ～再発防止のポイント～	●脳卒中の再発防止のための高齢者看護ケアの基本的な進め方がわかる
BDB2504	高齢者の褥瘡形成の特徴 政田 美喜 先生 三豊総合病院	
BDB2504-a	高齢者に多い褥瘡の特徴とリスクアセスメント	●高齢者に多い褥瘡の特徴とリスクアセスメントがわかる
BDB2504-b	褥瘡予防のための基本的看護ケア ～ポジショニング・スキンケア・栄養管理～	●褥瘡予防のための基本的看護ケアがわかる
BDB2504-c	褥瘡発生後の創傷観察と基本的看護ケア	●褥瘡発生後の創傷の評価と基本的看護ケアがわかる
BDB2551	サルコペニア・フレイル予防のために 看護師ができること 永野 彩乃 先生 西宮協立脳神経外科病院	
BDB2551-a	サルコペニア・フレイルとは	●サルコペニアとフレイルがわかる
BDB2551-b	栄養面から考える看護ケア	●栄養面をふまえた看護ケアの方法がわかる
BDB2551-c	運動面から考える看護ケア	●運動面をふまえた看護ケアの方法がわかる
BDB2552	高齢心不全患者の緩和ケア 岡本 聡一郎 先生 大分大学医学部附属病院	
BDB2552-a	高齢心不全患者の特徴～特有の併存疾患・リスク因子～	●高齢心不全患者の特徴が理解できる ●高齢心不全患者の特徴をふまえた介入の方法について理解することができる
BDB2552-b	心不全がもたらすフレイルサイクル	●心不全がもたらすフレイルサイクルについて理解できる ●高齢心不全患者のフレイルを予防するための方法が理解できる
BDB2552-c	高齢心不全患者の緩和ケア	●高齢心不全患者への緩和ケアの方法がわかる
BDB2553	高齢の糖尿病患者の QOL 向上につながる看護ケア 加藤 知子 先生 食サポートオフィス	
BDB2553-a	高齢者糖尿病の特徴と看護ケアの基本的な考え方	●高齢者糖尿病の特徴と看護ケアの基本的な考え方がわかる
BDB2553-b	知っておきたい高齢者糖尿病の薬物療法	●高齢者糖尿病の薬物療法について理解できる ●低血糖・シックデ이의予防・対応について理解できる
BDB2553-c	QOL 向上につなげる看護師のセルフケア支援	●高齢期の糖尿病患者への支援のポイントがわかる ●食事療法・運動療法・薬物療法のポイントがわかる
BDB2554	透析患者のための運動療法 大山 恵子 先生 つばさクリニック	
BDB2554-a	透析患者に対する運動療法のすすめ ～現況、運動耐容能、運動効果～	●透析患者に対する運動療法の必要性がわかる
BDB2554-b	透析患者に対する運動療法の方法 ～SPPB、運動の3大原則、有酸素運動、レジスタンス運動～	●透析患者に対する運動療法の適応、方法を述べることができる
BDB2554-c	透析中の運動療法に対する看護ケア ～禁忌、安全性、アクシデント～	●透析患者に対する運動療法の看護ケアの方法がわかる

新規配信テーマ 継続配信テーマ

多職種連携コース

それぞれの職種が専門性を活かし、患者の望む暮らしをチームでサポートしよう

1テーマ約15～30分

コード	セッション名・講師・テーマ名	到達目標
FAA2501	早期離床・早期退院に向けたチームでの取り組み 楠川 翠里 先生 みんなのかかりつけ訪問看護ステーション	多職種連携
FAA2501-a	早期離床・早期退院の重要性	●早期離床・早期退院がなぜ重要なのか説明できる ●早期離床・早期退院にかかわる診療報酬が理解できる
FAA2501-b	早期離床・早期退院に向けた各職種の役割	●早期離床・早期退院に向けた各職種の役割が説明できる
FAA2501-c	チームで行う早期離床に向けた介入	●早期離床・早期退院に向けたチームでの取り組みとして、自施設でできることをあげられる
FAA2502	「リハビリテーション・栄養・口腔管理」の一体的取り組みの進め方 ～実践事例からヒントを得よう～ 宮島 功 先生 近森病院	多職種連携
FAA2502-a	入院早期にリハビリテーション・栄養・口腔管理を一体的に行うことの重要性	●入院早期にリハビリテーション・栄養・口腔管理を一体的に行うことの重要性を説明することができる
FAA2502-b	リハビリテーション・栄養・口腔管理を多職種でやってみよう！	●多職種でできるリハビリテーション・栄養・口腔管理の一体的取り組みを知り、自施設で実施するイメージができる
FAA2502-c	事例：リハビリテーション・栄養・口腔管理の一体的取り組みの実際	●事例を通じて一体的取り組みを知り、明日から取り組む課題を1つあげることができる
FAA2503	多職種ロールプレイをやってみよう ～身体的拘束防止編～ 小坂 智恵子 先生 東京都リハビリテーション病院	多職種連携
FAA2503-a	多職種ロールプレイって何？	●多職種ロールプレイの目的と意義が説明できる ●ロールプレイの種類と活用が理解できる
FAA2503-b	多職種ロールプレイに必要なこと	●ロールプレイを効果的に行うためのポイント、留意点が理解できる ●多職種ロールプレイの計画が立てられる
FAA2503-c	やってみよう！多職種ロールプレイ ～身体的拘束事例をもとに考えてみよう～	●多職種ロールプレイを自施設で開催するイメージができる
FAA2504	教えて PT さん！ 腰にやさしく患者さんに負担をかけない移乗方法 豊田 輝 先生 帝京科学大学	多職種連携
FAA2504-a	本当に大丈夫？その移乗	●事例動画を通じてこれまでの自身の移乗動作助助方法を振り返ることができる
FAA2504-b	移乗の動きを分析しよう	●移乗動作を構成するそれぞれの動作におけるボディメカニクスを理解し、患者および助助者にとって負担のない動きをイメージできる
FAA2504-c	これでカンペキ！移乗の実践	●移乗動作助助における動作のボディメカニクスを理解したうえで、患者の機能・能力に対するアセスメントを行い、その結果をふまえて適切な移乗動作助助方法が選択・実践できる
FAA2551	基礎からわかるチーム医療 牧野 茂義 先生 東京都赤十字血液センター	多職種連携
FAA2551-a	チーム医療とはなんだろう ～とくに輸血医療について～	●チーム医療とは何か説明できる ●とくに輸血領域におけるチーム医療の必要性について理解する
FAA2551-b	チーム医療を円滑に進めていくために：環境編	●チーム医療を円滑に進めていくために、どういった環境が必要かがわかる ●とくに輸血チーム医療を進めていくうえで整えるべき環境について説明できる
FAA2551-c	チーム医療を円滑に進めていくために：心がまえ編	●チーム医療を円滑に進めていくために、どういった心がまえをもてばよいかわかる ●心理的安全性について理解できる
FAA2552	外国人スタッフとの協働 ～思いやりと信頼をもってともに歩もう～ 谷口 淳子 先生 生長会・悠人会	多職種連携
FAA2552-a	医療・介護現場における外国人スタッフの活躍	●医療・介護現場における外国人スタッフの現状と制度についてわかる
FAA2552-b	外国人スタッフと協働するために大切なこと	●外国人人材を受け入れるにあたり、協働するための組織づくりを進める考え方がわかる
FAA2552-c	思いやりと信頼をもって協働していくために大切なこと	●外国人人材を受け入れたあと、協働するための組織づくりを進めていく考え方がわかる
FAB2501	患者の望む暮らしを支える！ケアマネジャーとの連携 永沼 明美 先生 光が丘訪問看護ステーション	テストなし ワークなし 多職種連携
FAB2501-a	患者の望む暮らしを支える！ケアマネジャーとの連携	●チーム医療におけるケアマネジャーの役割について説明できる ●患者が退院後どのような生活をしているのか想像することができる ●ケアマネジャーとの連携について、明日から実践できることを1つあげられる
FAB2502	健康的な暮らしの基本をつくる！歯科衛生士との連携 坂井 鮎 先生 藤田医科大学病院	テストなし ワークなし 多職種連携
FAB2502-a	健康的な暮らしの基本をつくる！歯科衛生士との連携	●チーム医療における歯科衛生士の役割について説明できる ●自らの業務における歯科衛生士との連携について明日から実践できることを1つあげられる
FAB2503	暮らしのなかでもてる力を発揮する！ 介護福祉士との連携 石本 淳也 先生 熊本県介護福祉士会	テストなし ワークなし 多職種連携
FAB2503-a	暮らしのなかでもてる力を発揮する！介護福祉士との連携	●チーム医療における介護福祉士の役割について説明できる ●自らの業務における介護福祉士との連携について明日から実践できることを1つあげられる
FAB2551	チーム力を底上げする！薬剤師との連携 百瀬 智恵 先生 牧田リハビリテーション病院	テストなし ワークなし 多職種連携
FAB2551-a	チーム力を底上げする！薬剤師との連携	●チーム医療における薬剤師の役割について説明できる ●自らの業務における薬剤師との連携について明日から実践できることを1つあげられる

コード	セッション名・講師・テーマ名	到達目標
FAB2552	患者の生きる力を支える！ 管理栄養士との連携 大島 真理子 先生 多摩北部医療センター	テストなし ワークなし 多職種連携
FAB2552-a	患者の生きる力を支える！ 管理栄養士との連携	●チーム医療における管理栄養士の役割について説明できる ●自らの業務における管理栄養士との連携について明日から実践できることを1つあげられる
FAB2553	地域の健康を守る！ 保健師との連携 堀間 華世 先生 保健師	テストなし ワークなし 多職種連携
FAB2553-a	地域の健康を守る！ 保健師との連携	●多職種連携における保健師の役割について説明できる ●自らの業務における保健師との連携について明日から実践できることを1つあげられる
FAB2554	患者の自立支援につなげる！ 理学療法士との連携 出島 慶之 先生 牧田リハビリテーション病院	テストなし ワークなし 多職種連携
FAB2554-a	患者の自立支援につなげる！ 理学療法士との連携	●チーム医療における理学療法士の役割について説明できる ●自らの業務における理学療法士との連携について明日から実践できることを1つあげられる
FAB2555	患者のADLを高める！ 作業療法士との連携 泉 真理 先生 牧田リハビリテーション病院	テストなし ワークなし 多職種連携
FAB2555-a	患者のADLを高める！ 作業療法士との連携	●チーム医療における作業療法士の役割について説明できる ●自らの業務における作業療法士との連携について明日から実践できることを1つあげられる
FAB2556	患者の生きる世界を広げる！ 言語聴覚士との連携 半田 央梨緒 先生 牧田リハビリテーション病院	テストなし ワークなし 多職種連携
FAB2556-a	患者の生きる世界を広げる！ 言語聴覚士との連携	●チーム医療における言語聴覚士の役割について説明できる ●自らの業務における言語聴覚士との連携について明日から実践できることを1つあげられる

☐ 新規配信テーマ
 ☐ 継続配信テーマ

チェック動画ライブラリ

コンパクトに学べるチェック動画がいつでも視聴可能！

テストなし ワークなし

コード	カテゴリ	テーマ名
MV0100-a	与薬（輸液ポンプ・シリンジポンプ）	輸液ポンプ・シリンジポンプ
MV0200-a	感染対策	あなたの手はきれいですか
MV0200-b		手指消毒
MV0200-c		手洗い
MV0200-d		嘔吐物・排泄物の処理方法
MV0200-e		個人防護具の着用方法
MV0200-f		個人防護具のはずし方
MV0200-g		咳エチケット
MV0300-a	救急救命処置（急変対応）	前日の患者との会話から予測（良い例・悪い例）
MV0300-b		急変患者の気づき
MV0300-c		急変患者発見時の対応
MV0400-a	社会人基礎力（接遇）	クレーム対応
MV0400-b		ことばの伝え方
MV0400-c		挨拶のポイント
MV0400-d		お悩み解決ラボ ～コミュニケーション編～
MV0500-a	医療安全（アンガーマネジメント）	怒っている人がいたら
MV0500-b		場所の優劣
MV0500-c		距離を取る
MV0500-d		それぞれの場面で

コード	カテゴリ	テーマ名
MV0600-a	チーム医療（多職種カンファレンス）	共有編（よくない例・よい例）
MV0600-b		基本編（よくない例・よい例）
MV0600-c		実践編（よくない例・よい例）
MV0700-a	呼吸	咳嗽の介助
MV0700-b		呼吸介助法～臥位～
MV0700-c		呼吸介助法～座位～
MV0700-d		ハフィング～座位～
MV0700-e		口鼻腔吸引
MV0700-f		閉鎖式吸引
MV0800-a	注射・採血	静脈血採血
MV0800-b		筋肉内注射
MV0800-c		皮下注射
MV0800-d		静脈注射
MV0900-a	シミュレーション教育	急変対応シミュレーション
MV0900-b		接遇シミュレーション

新規配信テーマ 継続配信テーマ

院内全体研修コース

医療施設で働くすべての方に知ってほしい・身につけてほしいテーマ

医療安全関連

監修 杉山 良子 先生 一般社団法人 医療安全全国共同行動 改善アドバイザー、
パラマウントベッド株式会社 顧問、転倒転落研究会 (RoomT2) 主幹 / 看護師

働き方の見直しから組織で医療安全の再構築を考える

1テーマ約10分

コード	セッション名・講師・テーマ名	到達目標
CA2501	医療安全文化の醸成 ～現在の課題を原点に戻って考えよう～ 小林 美雪 先生 山梨医療安全研究会	医療安全
CA2501-a	医療を取り巻く現状と安全の課題	●日本の医療を取り巻く現状と安全の課題を知り、自施設の課題から、医療安全対策を考える
CA2501-b	医療安全文化を醸成するための考え方 ～医療安全文化の理解～	●「安全文化の醸成とは」を理解し、自施設の安全文化を醸成する方策を考える
CA2502	組織の医療安全文化を支えるインシデントレポートと報告書管理体制を知ろう！ 高山 詩穂 先生 聖徳大学	医療安全
CA2502-a	インシデントレポートが医療安全文化になぜ必要か	●インシデントレポートがなぜ必要か理解する
CA2502-b	事例から得た教訓をいかに改善につなげるか	●インシデント・アクシデント発生時における組織の一般的な報告体制の概要を知る ●報告書管理体制の概要と必要性が理解できる
CA2503	形骸化させない！安全確保につながる確認業務 田中 健次 先生 電気通信大学	医療安全
CA2503-a	確認業務を確実に実施するために	●おちいりやすい誤った確認方法を知り、各タイミングでの適切な確認方法を理解する ●確認作業の形骸化は禁物。確認の目的を理解し、ミスにより発生する事故を予測し、的確な確認作業を実施する
CA2503-b	効果的なダブルチェックを実施するために	●ダブルチェックの落とし穴を理解し、多重化ではなく多様性を取り入れた有効なダブルチェックの方法を身につける
CA2504	医療安全文化醸成のための感性を磨く ～TeamSTEPPS®・5Sのすすめ～ 辰巳 陽一 先生 近畿大学病院	医療安全
CA2504-a	チーム医療における5Sの意味を考えよう	●チーム医療における5Sの意味について理解することができる
CA2504-b	TeamSTEPPS®の理解	●心理的安全性のあるチームをつくるための、チームの共通概念であるTeamSTEPPS®について述べるることができる
CA2551	Let's ナッジ！医療安全をポジティブにとらえよう 辰巳 陽一 先生 近畿大学病院	医療安全
CA2551-a	医療安全におけるナッジとは？ ～行動経済学と医療安全～	●行動経済学の観点からナッジの考え方が理解できる
CA2551-b	ナッジによる行動変容のしくみと評価	●行動のボトルネックを理解し、ナッジを活かした改善策が検討できる
CA2551-c	ナッジの医療安全活動への活用	●ナッジを医療安全活動に活かすための具体策を考えることができる
CA2599	動画で実践！みんなで取り組むKYT！ ～KYT事例動画アーカイブ～ 黒川 美知代 先生 武蔵野赤十字病院	テストなし 医療安全
CA2599-a	動画で実践！みんなで取り組むKYT！ ～KYT事例動画アーカイブ～	

新規配信テーマ

継続配信テーマ

コード	セッション名・講師・テーマ名	到達目標
CB2501	基本を再確認！ 感染経路の理解 服部 智美 先生 日本赤十字社 愛知医療センター 名古屋第二病院	感染対策
CB2501-a	感染経路別にみた感染症の理解	● 感染経路の種類が理解できる
CB2501-b	もう一度確認する標準予防策	● 標準予防策がなぜ有効なのか理解できる
CB2501-c	感染経路別予防策の基本	● 自施設における感染経路別予防策の現状を知り、自施設に即した感染経路別予防策をあげることができる
CB2502	基本を再確認！ ノロウイルス感染症対策 桑山 祐樹 先生 愛知県医療療育総合センター中央病院	感染対策
CB2502-a	ノロウイルス感染症の基本	● ノロウイルスの特徴を知り、対応上の注意点をあげることができる
CB2502-b	ノロウイルス感染症の予防	● ノロウイルス感染症の予防について自施設で取り組める方法がわかる
CB2502-c	ノロウイルス感染症対策の実際	● 吐瀉物処理方法を含むアウトブレイク対策が実践できる
CB2503	基本を再確認！ インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症対策 脇 真澄 先生 あいち小児保健医療総合センター	感染対策
CB2503-a	インフルエンザの基本	● インフルエンザの特徴を知り、感染対策上の注意点をあげることができる
CB2503-b	新型コロナウイルス感染症の基本	● 新型コロナウイルス感染症の特徴を知り、感染対策上の注意点をあげることができる
CB2503-c	新興感染症への備え	● 新興感染症とは何かを理解する ● 感染経路と経路別対策を理解する ● 日頃から備えておくべきことを理解する
CB2504	アウトブレイクを回避しよう ～注意すべき感染症とその対策～ 島崎 豊 先生 NPO 法人 日本・アジア口腔保健支援機構	感染対策
CB2504-a	注意すべき感染症の動向～麻疹・風疹など～	● 注意すべき感染症の種類をあげることができる
CB2504-b	注意すべき感染症への対応策	● 注意すべき感染症の特徴をふまえた対応策をあげることができる
CB2504-c	ワクチンを有効に活用するために	● ワクチンの特徴を知り、抗体価確認方法がわかる
CB2505	抗菌薬使用の実際と適正使用 高橋 弘泰 先生 海南病院	感染対策
CB2505-a	抗菌薬投与の基本～患者モニタリング～	● 感染症がどの診療科でも起こり得る疾患であることをふまえ、感染症患者のモニタリングに必要な感染症診療の基本を理解する ● 抗菌薬投与を開始するまでを中心に、感染症治療の流れを理解できる ● 感染症治療に必要な情報を確認できる
CB2505-b	抗菌薬投与の基本～敗血症について～	● 年齢・性別を問わず誰もが罹患し得る敗血症の概念をふまえ、原因や症状、危険性を正しく理解できる ● 敗血症の診断と治療の流れがわかる ● ショックや著しい臓器障害により死に至る場合もあることを理解し、医療チームの一員として、正しい知識を身につける
CB2505-c	抗菌薬の適正使用	● 抗菌薬の適正使用の目的を説明できる ● 医師がどのようなことを考えて抗菌薬の選択をするのかを知り、抗菌薬の適正使用の一連のプロセスを説明できる
CB2505-d	薬剤耐性（AMR）対策に必要な実践上の注意点	● 世界的な問題となっている薬剤耐性菌についての知識を身につける ● 心がけるべき薬剤耐性（AMR）対策を知り、明日から取り組む実践内容をあげることができる
CB2551	医療従事者として知っておきたい 薬剤耐性菌の基本と対策 島崎 豊 先生 NPO 法人 日本・アジア口腔保健支援機構	感染対策
CB2551-a	薬剤耐性菌の基礎と近年の動向	● 薬剤耐性菌に関する基礎知識と、近年の問題や対策の動向について説明できる
CB2551-b	薬剤耐性菌の院内感染	● 主な薬剤耐性菌と注意すべき薬剤耐性菌が説明できる ● 薬剤耐性菌の院内感染がどのように起こるか説明できる
CB2551-c	アウトブレイク発生時の対応	● 薬剤耐性菌のアウトブレイクが発生したときの対応がわかる
CB2551-d	地域とつながる薬剤耐性菌対策	● 地域全体での薬剤耐性菌対策について知り、自施設の役割を1つあげることができる

新規配信テーマ 継続配信テーマ

倫理関連

日々の「もやもや」に気づいて立ち止まり、みんなで考えてみよう

1テーマ約10分

コード	セッション名・講師・テーマ名	到達目標
CD2501	立ち止まる臨床倫理のススメ 金城 隆展 先生 琉球大学病院	テストなし 倫理
CD2501-a	倫理とは？ 倫理的になるとは？ 倫理的な人とは？	● 倫理とは何かを理解し説明できる ● 選択（倫理）と人生がどのように関連しているかを説明できる ● 2 種類の自由を理解し、それがどのように倫理につながるのかを説明できる
CD2501-b	選択に向き合う姿勢としての倫理	● 「倫理とは姿勢である」とはどのようなことを理解し説明できる ● 服従・慣習・模倣・情性・可能な選択がなぜ倫理的選択でないかを説明できる ● 臨床で「立ち止まる倫理」を実践する自分自身をイメージすることができる
CD2501-c	立ち止まり正しく悩むための倫理	● 「悩むための倫理」がどのような倫理かをイメージでき、それに自分自身を重ねることができる ● 「正しく悩む」とはどのようなことを理解し説明できる ● 倫理の反意語は何かを説明できる ● 中庸（中間の倫理）を説明でき、日々の生活に応用することができる
CD2501-d	臨床倫理のトリセツ	● 臨床倫理のしかたを理解して実践できる ● 法律と専門職倫理の違いを説明できる ● 最低限と最大限の倫理の違いを理解し、自分自身の実践にあてはめることができる ● なぜ自分の道徳的判断に自信をもつべきでないかを理解できる ● 臨床倫理で一番大事な原則が何かと問われて答えることができる
CD2502	臨床倫理実践 ～患者の幸福をナラティブから見つけ出す～ 金城 隆展 先生 琉球大学病院	テストなし 倫理
CD2502-a	みんなで支える ACP ～患者の尊厳から～	● 患者の尊厳を守る医療を説明できる ● ACP とは何かを説明できる ● 選択の準備ができていない患者に選択（ACP）を強要しないようにするためにどうすればよいかを説明できる
CD2502-b	患者の幸福を考えるためのナラティブ ～スキルとナラティブの二刀流～	● 物語・ナラティブを説明することができる ● 物語る動物の意味を説明することができる ● スキルとナラティブの違いを理解し、患者の幸福のためにはどのような倫理的姿勢が求められるかを説明できる
CD2502-c	事例でみるナラティブ ～患者の幸福を共同著作する～	● 共同著作の観点から臨床を定義することができる ● 患者の尊厳に基づいた選択について一人ひとりができることは何か、自施設にあてはめて考えることができる ● 「医療介護職者は杖である」という比喩を理解して説明できる
CD2503	看護職のための倫理 ～人生の最終段階における意思決定を支える～ 木澤 義之 先生 筑波大学	倫理
CD2503-a	人生の最終段階における意思決定とは？	● 人生の最終段階ではどのような意思決定が必要なのか理解できる
CD2503-b	人生の最終段階にある患者を支えるためにどうするか	● 意思決定のプロセスがわかる ● 本人の意思決定能力を評価できる ● 代理意思決定：患者を支えるために家族等を支援できる
CD2503-c	事例から考える 意思決定を支えるためのポイント テストなし	● 事例から意思決定支援のポイントを学び、明日から自分ができることを 1 つあげられる

☐ 新規配信テーマ ☐ 継続配信テーマ

非常時対応関連

非常時にも盤石な医療体制を構築できる対応力を備えた医療従事者になるための学びをサポート

1テーマ約10分

コード	セッション名・講師・テーマ名	到達目標
CH2501	実効性のある BCP を策定・運用するための考え方 笠岡 俊志 先生 熊本大学病院	
CH2501-a	なぜ医療機関に BCP が必要なのか	● 医療機関における BCP の必要性がわかる
CH2501-b	感染症型、災害型 BCP それぞれのポイント	● 感染症および災害それぞれに応じた BCP の違いがわかる
CH2501-c	BCP を絵に描いた餅にしないために必要なこと	● BCP の実効性を高めるための方法がわかる
CH2502	災害に負けない病院づくりのポイント ～実際の災害事例に学ぶ有事への備え～ 富岡 譲二 先生 米盛病院	
CH2502-a	医療機関が抱えている災害リスク	● 医療機関が抱える災害リスクをふまえた備えのあり方がわかる
CH2502-b	地域全体で考える医療防災	● 医療防災における自施設外との連携方法を 1 つあげられる
CH2502-c	災害に負けない体制づくり ～事例に学ぶ災害時医療のいろは～	● 災害に遭遇することを想定した体制づくりに必要なことを 1 つあげられる
CH2551	復興事例に学ぶ災害に強い医療機関になるために 笠岡 俊志 先生 熊本大学病院	
CH2551-a	災害時の医療ニーズに応える多施設間との連携	● 多職種間との連携の必要性がわかる ● 多施設間との連携の必要性がわかる
CH2551-b	災害関連死を防ぐ医療機関の対応策	● 災害関連死を防ぐための対応策がわかる
CH2551-c	災害に強くなるための平時の備え	● 災害を想定し、平時から準備しておくべきことがわかる
CH2552	知見から学ぶ水害対策タイムライン防災計画 笠岡 俊志 先生 熊本大学病院	
CH2552-a	水害の特徴とその対策の考え方	● 水害の特徴を知り、その対策の考え方がわかる
CH2552-b	自施設の浸水リスクをいかに把握するか	● 自施設の建物・設備の特徴を知り、浸水リスクを把握する方法がわかる
CH2552-c	水害タイムライン防災計画の必要性	● 水害の被害度合に合わせた対策の必要性がわかる

☐ 新規配信テーマ ☐ 継続配信テーマ

全体研修関連

病院全体で質の高いケアを提供するための知識を深め、実践につなげる

1テーマ約 **10分**

コード	セッション名・講師・テーマ名	到達目標
CJ2501	医療従事者が知っておきたいヤングケアラー支援 横山 恵子 先生 横浜創英大学	地域包括ケア
CJ2501-a	ヤングケアラーとは	●ヤングケアラーについて知る
CJ2501-b	ヤングケアラーの特徴を知る	●ヤングケアラーの特徴について知る
CJ2501-c	ヤングケアラー支援に必要な多職種・他機関連携での支援	●ヤングケアラーに必要な支援を理解する
CJ2502	医療従事者が知っておくべき身体拘束最小化の考え方 小里 佳嵩 先生 G&S 法律事務所	医療安全
CJ2502-a	身体拘束の必要性と廃止・防止の取組み	●身体拘束の必要性となぜ身体拘束を廃止・防止するように取り組むべきなのかがわかる
CJ2502-b	身体拘束の基準と手続き	●身体拘束が例外的に許容される場合の判断基準とその手続きがわかる
CJ2502-c	事例で学ぶ身体拘束廃止・防止	●身体拘束最小化のための、身体拘束 3 要件の具体的検討、適正な手続きの手順がわかる
CJ2503	医療ガスの安全管理にかかわる基本的な考え方 小林 剛志 先生 平塚共済病院	医療安全
CJ2503-a	医療用ガスボンベの基本 ～酸素ボンベの正しい取り扱い方の知識～	●医療用ガスボンベについて学び、安全に使用するための保管・運搬方法と圧力調整器・酸素流量計の取り扱いの留意点がわかる
CJ2503-b	医療ガスの配管設備の基本～配管の知っておくべき知識～	●医療ガスの配管設備の概要がわかる
CJ2503-c	医療ガスのリスクとヒヤリハット事例	●医療ガスのヒヤリハット事例よりそのリスクを学び、医療ガス事故の防止策を 1 つあげられる
CJ2504	意識を変える！医療機関のサイバーセキュリティ 福田 秀樹 先生 徳洲会インフォメーションシステム株式会社	
CJ2504-a	身近に迫るサイバー攻撃のリスク	●身近にどのようなサイバー攻撃のリスクがあるのか 1 つあげられる
CJ2504-b	私たちにできるサイバーセキュリティ対策	●きょうからできるサイバーセキュリティ対策を 1 つあげられる
CJ2504-c	サイバーセキュリティの意識を高めるために	●サイバーセキュリティの意識を高めるために必要な取り組みを 1 つあげられる
CJ2505	高齢者虐待のとりえ方と対応 岸 恵美子 先生 東邦大学	医療安全
CJ2505-a	高齢者虐待の定義と通報義務	●高齢者虐待の定義を学び、通報義務の重要性がわかる
CJ2505-b	高齢者虐待の実態	●高齢者虐待の実態を学び、自施設で類似する状況がないか振り返ることができる
CJ2505-c	高齢者虐待防止に向けた対応	●高齢者虐待防止に向けて、自施設で必要な対応を 1 つあげられる
CJ2506	障害者虐待のとりえ方と対応 奈須 康子 先生 北九州市立総合療育センター西部分所	医療安全
CJ2506-a	障害者虐待の定義と通報義務～重症心身障害を中心に～	●障害者虐待の定義を学び、通報義務の重要性を理解する
CJ2506-b	障害者虐待の実態～重症心身障害を中心に～	●障害者虐待の実態を学び、自施設で類似する状況がないか振り返ることができる
CJ2506-c	障害者虐待防止に向けた対応～重症心身障害を中心に～	●障害者虐待防止に向けて、自施設で必要な対応を 1 つあげられる
CJ2551	放射線診療従事者に必要な診療用放射線の基礎知識と安全管理 ～医療安全に必要な知識と指針の策定・改訂～ 關 良充 先生 川口パークタワークリニック	医療安全
CJ2551-a	医療被ばくの基本的考え方と患者への適切な情報提供	●診療用放射線の安全な利用に関する基礎知識を学び、患者への適切な医師の説明 / 補助説明の必要性がわかる ●患者と医療従事者間の情報共有の必要性を 1 つあげることができる
CJ2551-b	放射線診療の正当化と防護の最適化のための指針と研修	●診療用放射線安全利用のための指針を理解し、放射線診療の正当化と防護の最適化の重要性が説明できる ●放射線従事者等に対する診療用放射線に係る安全管理のための職員研修の項目と対象者がわかる
CJ2551-c	放射線障害が生じた場合の対応 ～患者家族と医療従事者間の情報共有のポイント～	●患者と医療従事者の情報共有のポイントを理解し、放射線障害が生じた場合の患者・家族への適切な対応方法がわかる ●患者家族と医療従事者間の情報共有の必要性を 1 つあげることができる ●立ち入り検査時に使用する、放射線施設自主管理チェックリストのポイントが理解できる
CJ2552	医療現場で求められる LGBTQ+ への理解と支援 ～すべての人が受けやすい医療をめざして～ 中西 純 先生 ウィル訪問看護ステーション	
CJ2552-a	性的マイノリティと SOGI について知る	●LGBTQ + と SOGI について説明できる ●カミングアウトとアウティングの違いについて説明できる
CJ2552-b	セクシュアリティ（性のあり方）と医療現場での課題	●さまざまなセクシュアリティの人が医療現場で直面する課題について説明できる
CJ2552-c	すべての SOGI が受けやすい医療のために	●すべての SOGI が受けやすい医療を実現するために、自施設で取り組む課題を 1 つ以上あげることができる

コード	セッション名・講師・テーマ名	到達目標
CJ2553	医療職が知っておくべき障害者福祉関連法 ～福祉の視点を知る～ 宮島 渡 先生 日本社会事業大学専門職大学院	
CJ2553-a	わが国の障害者を取り巻く福祉施策	●現在のわが国における福祉施策の方向性がわかる
CJ2553-b	医療にかかわる障害者福祉に関する法律	●医療にかかわる障害者福祉に関する法律の目的や内包するサービスについて説明できる
CJ2553-c	障害をもつ人がより自分らしく生きられる社会とは	●合理的配慮の基本的な考え方について理解できる ●障害者の意思決定支援の理念について理解できる
CJ2554	子ども虐待を見逃さないために 中島 由美子 先生 訪問看護ステーション愛美園	
CJ2554-a	子どもの虐待とは	●子ども虐待の現状と課題について説明できる
CJ2554-b	子ども虐待のサイン	●子ども虐待の定義および観察のポイントを理解する
CJ2554-c	地域の連携による子ども虐待への対応と支援	●子ども虐待への援助の基本的考え方を学び、関係機関との連携および自施設での対応について再確認する
CJ2555	一般急性期の現場における身体拘束を考える 日向 園恵 先生 石巻赤十字病院	医療安全
CJ2555-a	急性期における身体拘束の現状	●急性期における身体拘束の現状について説明できる
CJ2555-b	身体拘束の倫理的なジレンマ	●急性期における身体拘束にかかわる倫理的な課題について知り、自施設の状況を説明できる
CJ2555-c	急性期病棟での身体拘束最小化をめざすために	●急性期病棟での身体拘束最小化をめざすために必要なポイントがわかる
CJ2556	みんなできめず「ハラスメントのない職場」とは 五井 淳子 先生 アクティ労務管理事務所	
CJ2556-a	ハラスメントが起きやすい？ 医療現場の環境	●ハラスメントが発生しやすいとされる医療現場の特徴と課題について説明できる
CJ2556-b	ハラスメントにあたる行動・あたらない行動	●ハラスメントにあたる行動・あたらない行動について、考え方の基本を説明できる
CJ2556-c	心理的安全性とハラスメントのない職場	●心理的安全性について知り、ハラスメントのない職場を実現するために明日から取り組む課題を1つあげることができる
CJ2557	医療者として知っておきたい「患者の権利」 ～相互理解のためのコミュニケーション～ 山口 育子 先生 ささえあい医療人権センター COML	テストなし
CJ2557-a	「知る権利」と患者の現状 ～ICからSDMへ～	●現在の医療における患者の意識と傾向について理解できる
CJ2557-b	患者のプライバシーを守るために	●患者のプライバシーを守るために自分が明日からできることを1つあげられる
CJ2557-c	患者・医療者がともに理解しあうための対応	●患者とのコミュニケーション能力アップのために自分が明日から使う「ひとこと」をあげられる

新規配信テーマ
継続配信テーマ

社会人基礎力関連

医療従事者として求められる、おさえておきたいキホンの学びをサポート

1テーマ約10分

コード	セッション名・講師・テーマ名	到達目標
CK2501	よくわかる個人情報保護の基本と取り扱い方 ～医療現場編～ 南 陽輔 先生 一歩法律事務所	
CK2501-a	個人情報保護とは何か	●個人情報保護法の基本が理解できる
CK2501-b	個人情報保護に対する基本的な考え、取り組み	●個人情報の取り扱い方を学び、自施設に必要な取り組みを1つあげられる
CK2501-c	個人情報の取り扱いについて	●「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」の概要がわかる
CK2502	医療職のためのメンタルヘルスマネジメント 川村 道子 先生 宮崎県立看護大学	
CK2502-a	医療職の特性からみるメンタルヘルス	●医療職の特性からメンタルヘルセルフマネジメントの重要性を理解する
CK2502-b	メンタルヘルスを意識した日々の暮らし	●メンタルヘルスを意識した暮らし（活動と休息）の創出について、エビデンスベースで理解する
CK2502-c	良好な職場環境とメンタルヘルス	●職場環境のなかでメンタルヘルスに及ぼす影響を理解し、対処法を講じることができる
CK2503	働き方改革につなげる多職種連携のあり方 田中 恭子 先生 ペガサス 馬場記念病院	
CK2503-a	医療従事者に必要な多職種連携とは	●医療従事者による多職種連携の必要性がわかる
CK2503-b	多職種連携が機能するために	●多職種連携がうまく機能するために必要な取り組みを1つあげられる
CK2503-c	多職種連携でのかわり方	●多職種連携での自身の役割を見出し、どのようにかわれるか考えることができる
CK2504	電話・メールの基本マナー ～社会人としてのファースト・ステップ～ 平岡 弓枝 先生 国立がん研究センター東病院	
CK2504-a	新医療人としてのビジネスマナー：電話編	●新医療人として基本的な電話応対の方法がわかる
CK2504-b	新医療人としてのビジネスマナー：メール編	●新医療人として基本的なメール文面の作成方法がわかる
CK2504-c	ビジネスマナーを実践するとは	●電話・メールのビジネスマナーを理解し、ていねいな対応ができる
CK2551	あいさつからはじまる接遇マナー 村尾 孝子 先生 株式会社スマイル・ガーデン	
CK2551-a	信頼関係を築く医療接遇のあり方	●信頼される医療人になるための意識づけができる ●医療人として、基本的なビジネスマナーを身につける ●医療接遇の必要性を理解し、適切なふるまいと円滑なコミュニケーションがとれる
CK2551-b	医療現場にさまざまな影響をもたらす「あいさつ」のチカラ	●あいさつの意義を理解し、「自分から先に」積極的にあいさつができる ●あいさつを実践して、多職種との円滑なコミュニケーションに活用できる ●患者さんをいたわり、心のこもったあいさつができる
CK2552	クレーム対応 ～二次クレームを予防するために～ 村尾 孝子 先生 株式会社スマイル・ガーデン	
CK2552-a	これだけは知っておきたいクレーム対応	●クレームに含まれる患者さんの気持ちを理解することができる ●クレームが起こる原因や理由を理解することができる ●ポイントをおさえたクレーム対応を理解できる
CK2552-b	二次クレームを予防する心得	●二次クレームの発生要因を理解できる ●二次クレームの予防に必要な初期対応を理解できる ●二次クレームを予防するポイントを理解できる
CK2552-c	動画で学ぶ電話対応	●動画を参考に電話対応方法をイメージできる ●電話でのクレーム対応の悪い例を見て、何が問題なのか理解する ●電話でのクレーム対応の良い例を見て、望ましいクレーム対応を理解する
CK2553	働きがい向上のためのキャリアプランを立てよう 永井 則子 先生 有限会社ビジネスブレーン	テストなし キャリア開発
CK2553-a	やりがい感の源・自己資源を把握する	●キャリアデザインの重要性に気づく ●自己資源把握の進め方を理解する
CK2553-b	組織とのコミットメントを考える	●組織における役割について理解する ●労働者としての市場価値の棚卸をする ●ワークライフバランスについて考える
CK2553-c	キャリアプランを立てる	●キャリア形成に影響する外的要因を理解する ●リスクリングを考える ●キャリアプランを立てる
CK2554	組織の活性化と職員自身の成長につながる コミュニケーションの力！ 青木 正人 先生 株式会社ウエルビー	
CK2554-a	医療機関のコミュニケーションの特徴は？	●円滑で確実なコミュニケーションをはかるポイントがわかる
CK2554-b	コミュニケーションをとるのはなぜ難しい？	●コミュニケーションスキル向上のポイントをつかむ
CK2554-c	組織力を高めるコミュニケーションとは？	●チームビルディングを支えるコミュニケーションのあり方を理解する